

近世貨幣と経済発展



「三貨制」史観を塗り替える

◎新貨幣の流通は、庶民の生活水準の上昇を示す指標である。

本書は、日本各地の実態を分析し、

新たな視点で日本の歴史を理解するための参考書である。

[近代貨幣と経済発展 下载链接1](#)

著者:岩橋 勝

出版者:名古屋大学出版会

出版时间:

装帧:

isbn:9784815809652

「三貨制」史観を塗り替える画期的労作

——。小額貨幣の流通は、庶民の生活水準の上昇を示す指標である。銭貨や藩札などの需要面に注目し、多様性とダイナミズムを内包する日本各地の実態を分析、東アジアにおける徳川経済の先進性を実証する。

作者介绍:

目录:序章 本書の視角と課題

第Ⅰ部 貨幣流通から見る近世日本経済

第1章 近世経済の制度的枠組み

はじめに

- 1 德川の平和 —— 制度的安定
- 2 市場規模拡大のための諸制度
- 3 経済インセンティブの成立

むすび

第2章 近世経済発展と貨幣

はじめに

- 1 石高制のなかの貨幣
- 2 近世貨幣の多様性と統合化
- 3 小額貨幣と経済発展

むすび

第3章 近世銭相場の変動と地域比較

はじめに

- 1 東日本の銭相場
- 2 西日本の銭相場

むすび

第4章 徳川時代の貨幣数量

—— 金・銀・銭貨在高の推移

はじめに

- 1 金銀貨在高の推移
- 2 銭貨在高の推移
- 3 徳川期三貨流通量の推移 —— むすびにかえて

第5章 近世の日本・中国・朝鮮における貨幣経済化

はじめに

- 1 3国の貨幣制度と流通貨幣の推移
- 2 データの整備方法
- 3 貨幣経済化の3国比較

むすび

第Ⅱ部 近世紙幣論

第6章 近世紙幣の流通実態

はじめに

- 1 近世紙幣の研究視角
- 2 藩札の流通実態をめぐる課題
- 3 藩札の流通持続期間と流通基盤
- 4 近世私札の流通実態
- 5 小額貨幣不足打開のための藩札・私札のコラボレーション
- 6 近代紙幣への日中比較 —— むすびにかえて

第7章 伊予松山藩札流通と銭匁勘定

はじめに

- 1 松山藩の藩札流通政策
- 2 松山藩領における銭匁遣い
- 3 藩札価格維持の要因 —— むすびにかえて

第8章 藩札信用獲得の一条件

—— 熊本藩領を事例として

はじめに

- 1 熊本藩札と銭預り
- 2 熊本藩領の取引価値基準と銭匁内実
- 3 熊本藩領内流通貨幣の実態
- 4 銭匁遣い化と銭預り定着の要因 —— むすびにかえて

第9章 出雲松江藩札と連判札

—— 藩札と私札のコラボレーション

はじめに

1 松江藩領内流通貨幣の実態
2 松江藩領内札遣いの実態
3 連判札の発行と流通
4 松江藩札と連判札 —— むすびにかえて
第III部 近世貨幣の流通実態
—— 錢貨を中心として
第10章 錢遣い経済圏と錢匁遣い

はじめに
1 錢札発行分布から見る錢遣い経済圏
2 錢匁遣いの実態

3 三貨制のなかでの錢遣いの意義 —— むすびにかえて
第11章 東北地方の貨幣流通

—— 津軽地方の錢匁遣いを中心として
はじめに

1 津軽地方の錢匁遣い
2 津軽地方の貨幣流通実態
3 秋田地方の貨幣流通実態
4 若干の考察 —— むすびにかえて

第12章 土佐における八銭勘定

はじめに

1 売券類に見る基準貨幣と流通貨幣
2 八銭勘定の成立と実態
3 土佐における貨幣流通実態

むすび

第13章 九州地方の錢遣い
—— 豊後日田地域金融取引における基準貨幣を中心として
はじめに

1 豊後日田と千原家の概況
2 千原家金融取引証文の基準貨幣
3 日田地方の流通貨幣 —— むすびにかえて

補論 九州各地の錢遣い事情

終章 近世貨幣と経済発展

あとがき

初出一覧

図表一覧

索引

• • • • • (收起)

[近世貨幣と経済発展 下载链接1](#)

标签

经济史

江戸

日本史

日本

评论

[近世貨幣と経済発展 下载链接1](#)

书评

[近世貨幣と経済発展 下载链接1](#)